



第469号 平成29年8月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

京都市立学校校園長会との懇談会

会 長 林 鐘 声

7月22日(土)、上記懇談会のため、永本多紀子(中京もえぎ幼)園長、中村隆(大藪小)校長、棕本久雄(大宅中)校長、山脇護(京都堀川音楽高)校長、亀谷正樹(呉竹総合支援)校長、そして京都市教育委員会体育健康教育室の白波瀬克則課長、進藤幸喜係長に来て頂きました。学校医会からの出席は、眼科、耳鼻科の学校医を含めて7名でした。

私達の活動には校園長の了解が不可欠なことから、校園長との懇談の必要性はわかっているが、実際は教育委員会を介しての通知文だけで終わっている所が多い中で、京都市では教育委員会を混じえて、直接に顔と顔を合わせての懇談会を開いてきました。このひと手間をかけてきたことが、京都市の学校保健に“いい味”を出してきたことは間違いなく、今後も大事にしていきたいところです。

懇談会の主題は教育委員会のものと同じです。学校の全面的な協力のお蔭で、全学年の運動器検診のデータを集めることが出来たことへのお礼とともに、その結果から見えてきた課題として、運動部員の運動器障害の予防のための教育指導の必要性について申し上げました。幼稚園からは、最近の幼児はマンション生活が主となって動かない子、運動の苦手な子が増えているとの報告を頂きました。小学校からは、岬の家のトイレが和式であることや、中学からは、しゃがめない子が多いが、その実体には巾広い内容を含んでいるとか、高校からは、心と体のバランスをとる教育をすすめていくことの重要性とかの指摘を頂きました。

次に大久保理事が、定期健康診断後の外国からの転入者に対して、この秋から実施する結核検診を行うことにした理由と経緯について、教育委員会は実際の方法について説明しました。今月号に教育委員

会からの学校医へのお知らせ文を載せておきますので、ご一読下さい。その詳しいマニュアルについては、今しばらく時間を頂いて、皆様のお手元へ届けるようにします。高1の結核検診では、レントゲン車を利用して全員に胸部X線を撮影することは、ご存知のことと思います。支援学校では立位での撮影が無理な生徒は、レントゲン車でなく保健センターで撮ることもあったようです。今年度より保健センターが利用できなくなったために、レントゲン車で撮影をせざるを得なくなり、プロテクターを着けた学校関係者が撮影の介助に当たったそうです。組織を代えた影響が、こんな所に出ていたことを知りました。

他に、AEDやエピペンの研修会を充実させようとしているが、特にエピペンの練習用のトレーナーの本数を増やすことが出来ないものかと要望がでていました。

眼科学校医からは、色覚検査は小1、小4の方向で検討中であること、色覚異常が疑われる時は、まずは近くの眼科医への受診を勧めたいとの説明がありました。耳鼻科校医からは、聴力検査での「難聴の疑い」を「聞き取りにくい所がある」と改めるなど、手引きの改訂に伴う用語、病名を変更するとの報告がありました。

学校医の不適切な活動に困っているという報告が、2件挙っています。学校現場で受け入れられないような、なおざりな健診姿勢やプライバシー保護に欠ける対応によるものと聞いています。現状を知っているのは学校ですので、校長にその学校医と面談することを要望しました。その上で、改善の見込みがないとの判断が下されれば、致し方ありません。レッドカードが出たものとして、私達は対応せざるを得ません。

臨時結核健康診断について、及び前年度の精密検査（ツベルクリン反応検査や胸部X線撮影等）を受けなかった児童生徒への対応について

京都市教育委員会

京都市教育委員会では、年度途中で海外から転入してきた児童生徒に対する結核健康診断（臨時結核健康診断）、及び前年度の結核健康診断で精密検査の対象とされていながら精密検査を受けなかった児童生徒への対応を以下の通り実施したいと思いますので、御協力のほどお願い申し上げます。

（１）臨時結核健康診断

昨年度までの定期結核健康診断では、年度初めの結核健康診断実施後に海外から転入した児童生徒について、結核感染のリスクが高いと考えられる場合であっても、次年度まで結核健康診断を受ける機会がないという課題がありました。そのため、京都市では平成29年度より、京都市学校医会の全面的な協力のもと、臨時結核健康診断を実施し、海外から転入した児童生徒全員に結核の有無について早期に対応できるようにいたしました。

対象者：定期結核健康診断後、当該年度中に海外から転入した児童生徒全員

方 法：

- ① 転入後速やかに「結核健康診断 問診票」を配布・回収する。
- ② 「問診票」の質問1（り患歴）、質問2（予防内服歴）、質問3（家族り患）のうち1つ以上「はい」と回答した児童生徒や、質問4で高蔓延国での居住が認められた児童生徒がいる場合は、「（様式2）結核対策委員会要検討者名簿（臨時結核健康診断用）」（以下「（様式2）要検討者名簿」という）に記入し、教育委員会に提出する。
- ③ 「問診票」の質問5（2週間以上続く「せき」や「たん」）に「はい」、かつ補問5-1（医療機関受診あり）・補問5-2（ぜんそく等）に「いいえ」と回答した児童生徒がいる場合は、まず「（様式2）要検討者名簿」に記入し、教

育委員会に提出する（※『学校医の診察による検討の要不要』欄は空白にしておく）。

次に、症状の持続や医療機関受診の有無を確認し、必要であれば学校医と日時等を調整して、内科検診を実施する。内科検診の結果、検討が必要と認められた場合は、「（様式2）要検討者名簿」の『学校医の診察による検討の要不要』欄に「要」と記入し、またそれ以外の場合は「不要」と記入して、再度教育委員会に提出する。

- ④ 結核対策委員会で検討を行い、必要に応じて精密検査（ツベルクリン反応検査や胸部X線撮影等）を実施、あるいは医療機関受診を勧奨する。

留意事項：

- ・本人や家族のり患歴、あるいは結核高蔓延国での居住歴があり、「せき」や「たん」などが持続している児童生徒に対しては、早急に内科検診を実施し、必要に応じて医療機関受診を勧奨するなどの措置を講じる。
- ・結核高蔓延国での居住歴がある児童生徒に対しては、症状の有無に関わらず、日頃の健康状態に特に注意する。

（２）前年度の精密検査を受けなかった児童生徒への対応について

結核健康診断の結果、精密検査の対象とされていながら、保護者の同意が得られない等の理由により精密検査を実施できない児童生徒が毎年数名見られます。このような児童生徒がいた場合、学校医の先生方に報告いたしますので、次年度の内科検診時等に御留意いただくようお願いいたします。また、このような児童生徒の日常の健康観察において、長引くせきや微熱、倦怠感などの症状がみられた場合は、随時学校医の先生方に報告いたしますので、症状を御確認の上、受診勧奨等の指示を仰ぎたく存じます。

第68回指定都市学校保健協議会 課題別協議会 第2分科会に参加して

東山泉小中学校医 長 村 吉 朗

5月21日堺市において開催されました第68回指定都市学校保健協議会の第2分科会の概要につき報告をいたします。

第2分科会では、以下の報告が行われました。札幌市立東園小学校 保健主事 足立隆之「保健主事を中心とした学校保健活動のマネジメントについて～健やかな体をはぐくむための学校生活・環境の管理～」。広島市立草津小学校 養護教諭 川本真弓子「児童のけがの防止に向けた取り組みの充実を目指して～養護教諭の専門性を生かした組織的な取り組み～」。京都市学校医会 会長 林鐘声「運動器健診～京都市の方法と結果について～」。大阪市立南小中学校 指導養護教諭 中野美幸「国際色豊かな学校における保健管理～基本的な生活習慣の確立と自己肯定感を高めるための取り組み～」。相模原市立清新中学校 総括 養護教諭 渡邊靖江「養護教諭が持つ“養護観”を探る～保健室来室者対応の中から見えてきたもの～」の5演題でした。20都

市となった政令指定都市が4分科会に1題ずつ発表し、例年通り20分の発表と10分の質問という形式で行われました。

第3演題に京都から林会長の発表がありましたのでそれにつき報告いたします。発表は以前より校医ニュースで林会長が報告している内容ですが、これほどの集計が出来ている都市は他に無く、また運動器健診に対する準備すら出来ていなかった都市が多く見られ、それ以外の発表には質問者は学校関係者でしたが、この演題に関しては医師からの質問でした。大阪からは、側湾健診時の上半身裸が出来ていない状態で十分な健診が行えるのかと言うもので、京都のような健康診断時の服装の指導が徹底していないことがうかがえました。広島からは可動域の狭い子どもたちに対する、「要指導」という京都で行われている事後の学校での指導につき質問がありました。

なお、これらの資料は学校医会事務局に御座いますので必要な先生方は遠慮なくご連絡下さい。

第68回指定都市学校保健協議会 課題別協議会 第3分科会 心の健康

川岡東小学校医 山 内 英 子

今年度は「子どもの豊かな心を育てるための組織や支援のあり方」をテーマに、豊かな心を育てるための教育活動と、心の健康問題に対応する支援のあり方について協議されました。

演題1は名古屋市学校薬剤師会の山口一丸氏「飲酒、喫煙、薬物乱用に関する意識調査からみた今後の支援のあり方」について。一つの中学校区でアンケートを行い、その結果からより効果的な指導方法が検討されました。

演題2は静岡県立西奈南小学校養護教諭の藤田真澄氏「保健室経営における危機管理～救急時対応を見直し・広める・深める～」。緊急時対応の見直しとして職員を対象とした意識調査をもとに、災害時の心のケアや重要性についてより深く共通理解する必要性を感じ、心と身体を総合的に見た危機管理に目を向けた研修を行って研鑽を行いました。

演題3は横浜市立緑園東小学校学校医の会田秀介氏「心の健康は食べ物から」。発達障害を栄養で改

善できるとして、食育に取り込み、数例の発達障害に対する食育とサプリメントの臨床効果の報告とともに、食育が心の健康に一番重要であると提案されました。

演題4は熊本市立本荘小学校養護教諭の木下晃子氏「自己有用感に裏付けられた自尊感情いっぱいの子どもの育成を目指して～チーム本荘での取り組みを通して～」。学校教育目標は「あいうえお(あいさつ、いのちを守る心、運動・歌声、笑顔の学び、大きな夢)」いっぱいの子どもの育成。それを具現化するために少人数の学校で「チーム本荘」として種々の活動を実践し、成果の報告が行われました。

演題5は岡山市立中山中学校養護教諭の今井恭子

氏「中学校の学校適応感を高めていくために養護教諭ができること～アセスを活用した養護教諭発信のチーム援助の在り方～」。学校適応感が低くなっている生徒に対し、養護教諭としてどのように見立て、どのように関わり、援助していけば学校適応感を高めることができるのかということが、共通の課題として認識され、今後のチーム援助に活かしていくことが検討されました。

今回、指定都市学校保健協議会には初めての参加でしたが、開催地が出身地である堺市であった事もあり、同級生に会えたりもして、有意義な時間を過ごせました。

第68回指定都市学校保健協議会 課題別協 第4分科会 <地域保健>の報告

福西小学校医 奥村正治

この分科会は、学校・家庭・地域の学校保健活動の効果的な連携協働のあり方について協議が行われた。

①地域と連携して取り組む防煙教育

仙台市の学校薬剤師の北村哲治先生

②学校歯科保健調査から見てきた事とその対応について ～う歯の変遷と健康格差～

北九州市の学校歯科医の伊藤宏之先生・板家隆先生

③神戸市における学校薬剤師の活動と今後に向けての課題 神戸市の学校薬剤師の村田利重子先生

④自己肯定感を持ち、自他の命を大切にできる心の育成をめざして

～「生と性を考える週間」の実践を通して～

浜松市の中学校養護教諭の清水美香先生

⑤心身ともに健康で豊かな生活を営むことのできる子どもを育成する学校保健委員会

～家庭・地域との連携を通して～

千葉市の小学校保健主事の竹下高代先生

の5題であった。

③題の時間帯は、別会場で、当学校医会会長の林先生の運動器の発表の為、村田先生の演題は聞く事は出来なかったが、どの演者も、主題の学校(児童・生徒と教職員)と家庭(P.T.A)との結びつき、連携は、それぞれの活動から連らなっているが、一歩外に出た地域との連携に関しては、大変むずかしい事ではあるが、具体的に地域に発信した話題は少なかったと言うよりは無かったと言って良い。

いつも学校を取りまく話題の中で、学校・家庭それに地域と3本柱が唱えられているが、地域をまきぞえにし、学校の話を進めて行く事のむずかしさを改めて痛感した。

地域への発信はどの学校もかなりの量で発信はしておられるように思うが、地域側の受信がどの様になされているかが、この分科会の話題になろう。各学校が、地域側の受信結果をどの様にもらうかが、今後の学校運営の方向性とも思われた。

学校医会南支部会開催

南支部長 清水 忠雄

7月1日、南支部会を開催致しました。
今回は趣向を変え、千本丸太町のフレンチレストラン Rive gauche（昼はうどん屋のあさひ）にて。
林会長より昨年度から始まった運動器検診—京都市の結果について—の説明を頂きました。

後日、これについて結果報告があると思いますが、京都市では要専門医受診を指示された児童生徒の1/4が受診し、その70%に疾病、異常が見つかったとの事です。

各項目検診結果では、その殆どで高校1年生の有所見率が低く、特に運動部員においては、中学3年生の夏から高校1年の新学期まで部活動をしてない事の結果の現れと推定されるとの事でした。

その後、食事と色々な話題に会話がはずみ、9時頃に散会となりました。出席者は学校医会より、林鐘声会長、長村吉朗氏、南支部より山下琢、今井博之、関透、岡本行功、清水忠雄（敬省略・順不同）の7名でした。

京都府医師会指定学校医制度 単位取得講演会のお知らせ

平成29年度 京都府予防接種研修会

日 時：平成29年9月28日（木） 午後2時30分～午後4時30分

場 所：京都府医師会館3階310会議室（中京区西ノ京東梅尾町6 TEL：354-6101）

特別講演：こどもの予防接種の最近の話題とこれからの課題

演者：齊藤 昭彦 先生（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 小児科学分野 教授）

京都小児科フォーラム2017

日 時：平成29年9月30日（土） 午後5時～午後7時10分

場 所：京都ロイヤルホテル&スパ 青雲・瑞雲（中京区河原町三条上ル TEL：223-8484）

特別講演1：『予防接種を含めた、小児科領域におけるリスクマネジメント』

座長：藤田 克壽 先生（藤田医院 院長，京都小児科医会 会長）

演者：桑原 博道 先生（仁邦法律事務所 所長，日本小児科医会 顧問弁護士）

特別講演2：『ロタウイルスワクチン ～有効性と安全性の up to date～』

座長：竹内 宏一 先生（竹内小児科医院 院長）

演者：吉川 哲史 先生（藤田保健衛生大学医学部 小児科学講座 教授）

全 理 事 会

平成29年8月5日
於：料理旅館 白梅

出席者 林会長，井本副会長，杉本専務理事，大久保・山内・安野・川勝・西村各常任理事，垣田・俵・尾崎・上田・清水・橋平・公手・辻幸子各理事，鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事，奥村議長

・会長挨拶

<報告事項>

1. 南支部会 7/1 於：リヴ・ゴッシュ
2. 京都市学校保健会 第1回理事会・評議員会 7/11 於：京都市総合教育センター
3. 色覚相談 7/11, 7/18, 8/1
4. 精神衛生研究会 7/13
5. 一般社団法人京都府医師会
会長交替披露パーティー 7/16
於：ホテルグランヴィア京都
6. 校園長会との懇談会 7/22
於：シェ・カワセ
7. 京都市中学校選手権総合体育大会 柔道種目 7/22 奥村先生, 7/23 児嶋貴久先生
於：京都市武道センター
8. 第31回 京都市小学生水泳記録会 8/2
於：京都アクアリーナ 奥村先生
診療情報提供書について
9. 第39回 近畿学校保健連絡協議会 8/3
於：奈良県奈良市 林先生
10. 各支部報告
11. その他

<協議事項>

1. 平成29年度 養護教育研究会との懇談会
協議事項について
2. 平成29年度 子育て支援シンポジウム
後援について
3. 校医・小児科医感染症講演会について
4. 近畿学校保健学会について
5. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 8/8
2. 養護教育研究会との懇談会 9/2 17:35～
於：一之舟入
3. 第4回常任理事会 9/2 14:00～
4. その他

